



学校図書館だより

9月号

令和5年9月
柏市立柏第二中学校
柏市学校図書館指導員

二学期が始まりました。日中はまだ暑い日もありますが、朝晩は秋の気配を感じられるようになりました。秋は読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋などたくさんの楽しいことができる季節です。体育祭、文化祭などの行事もあり忙しい時期ですが、ほっとしたいときは学校図書館へどうぞ。いろいろな本をそろえてみなさんを待っています。



調べてみました！体育祭・運動会のはじまり



体育祭・運動会とは、学校や会社、市や町などで、集団でおこなう運動の行事。参加者が交流して仲よくなること、スポーツに親しみ、からだを動かすことで健康についての意識を高めることなどを目的とする。記録をきそい合うことを目的とするスポーツ大会とはちがう。徒競走、障害物競走、リレーなどの陸上競技や、玉入れなどのゲーム、ダンスなどがある。外国ではあまりみられない日本独特の行事となっている。学校行事としての体育祭・運動会が普及したのは、1885（明治18）年に初代文部大臣、森有礼がおこなった兵式体操からとされている。日本では、近代学校制度が発達するにつれて、学校の体育祭・運動会として普及した。

参考資料：『総合百科事典ポプラディア第三版 2』ポプラ社 2021年



中秋の名月



旧暦の8月15日の月のこと。現在の暦では9～10月頃にあたり、今年の中秋の名月は9月29日、満月になります。ゆっくり夜空を見上げて、秋の気配を感じましょう。



◆学校図書館からお知らせ◆

夏休み貸出の本は速やかに返却しましょう。
返却期限 9月15日（金）

9月昼休み開館日 6・8・12・13
15・20・26・27・29日



今月のおすすめ本 夜空を見上げて読んでみたい月が出てくる本

『月のえくぼを見た男 麻田剛立』

鹿毛敏夫 著 関谷敏隆 画
くもん出版 <289/カケ>

「これがいつも見ていた月の表面か…？」反射望遠鏡の先に見えた月の地表面の光景に、剛立は言葉を失った。剛立がクレーターのようすをスケッチした図は、日本最古の月面観測図となった。江戸時代、幼少年期から日月食や天体の観測をつづけた剛立は、独学でケプラーの第三法則をも見つけていた。大坂（大阪）に天文塾“先事館”を開き、日本の近代天文学の礎となった麻田剛立の生涯を彼の生きた時代と支えた人びととのつながりの中で描く。

出典 ライブラリーサーチ



『山月記・李陵ほか』

中島敦 著 教育出版 <913/ナカ>

中島敦の短編小説。1942（昭和17）年に発表されたデビュー作品。詩人をめざした主人公李徴は、名声を得られないあせりから心傷つき苦しむうちに、姿がトラにかわってしまう。旧友に出会った李徴は自分の身の上をうちあげ、変身の原因となったおごり高ぶった心の反省を伝える。そして友人に妻子をたのみ、姿を消す。奇怪な変身の物語のなかに、人間の苦しみや優しさがえがかれている。

『『山月記』（さんげつき）』,総合百科事典ポプラディア（Sagasokka!）より、（2023-07-19 閲覧）

